

保護者の皆様へ

このたびは、弊社京都工場等で製造した学校給食用牛乳200mlで、異物混入問題を発生させてしまい、多くの児童・生徒・保護者の皆様に、多大なご心配とご迷惑をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

お申し出のあった牛乳の異物につきまして、厚生労働省の登録検査機関および弊社分析センターで分析した結果、黒い異物は乳成分の焦げたものであり、その他の異物は繊維・ポリエチレン・インク成分であることが判明しました。京都工場の保存サンプルで確認されました異物は乳成分の焦げおよび微細な金属粉でした。

乳成分の焦げは、牛乳充填後に容器を熱シールする部分に付着した牛乳が焦げたもの、繊維・ポリエチレン・インク成分は、開封する時に剥がれた紙容器に由来するもの、一方、京都工場の保存サンプルで確認された微細な金属粉は、牛乳充填前にセットする紙容器に偶発的に付着したものと推定いたしました。

異物混入のお申し出を受けまして、再発防止策を検討し、製造室入室時及び製造室内作業時における従事者の衛生管理の徹底（手指の洗浄消毒、入室時の除塵の徹底）、乳成分の焦げ対策の徹底（牛乳充填時の機器調整及び清掃の徹底）を行ってまいります。併せて、製品検査体制の強化（検査頻度及び保存用サンプル本数の増加等）を行います。

弊社からの検査結果及び改善報告を受け、京都府南丹保健所様、神戸市様から、京都工場、京都工場池上製造所、神戸工場に対して立ち入り調査が行われ、ご指導をいただくとともに安全性をご確認いただきました。

弊社では、再発防止策を実施することで、乳成分の焦げの発生を可能な限り少なくするよう努めてまいります。紙容器入り牛乳には、まれに微小な乳成分の焦げが含まれることがあります。また容器を開封する際に、容器由来の微細な異物が入ることがあります。これらの異物につきましては、健康危害に結びつくものではありませんので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

弊社といたしましては、品質管理を一層強化し、ご安心いただける商品づくりに取り組んでまいりますので、何卒ご理解を賜り、今後ともご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

雪印メグミルク株式会社